目次

ユーザーインターフェースの利用 1
ユーザーインターフェースの利用：概要 1
スクリーンの概観 1
メニュー バー 3
ファイル 4
編集 4
ﾋﾞｭｰ 4
挿入する 4
オペレーション 5
ウィンドウ 5
ﾍﾙﾌ 6
ツール バー エリア 7
グラフィックの表示ウィンドウ 7
ステータス バー 8
ダイアログ ボックスの内容 9
編集ボックス 11
一覧ボックス 12
オプション ボタン 14
チェックボックス 14
コマンド ボタン 15
ダイアログ ボックスのタブ 18
ドロップダウン 一覧ボックス 18

ダイアログボックスをアクセスするオプション 18
編集ウィンドウをスクロール 19
ダイアログ ボックスの移動 19
ユーザー インターフェイスのカスタマイズ 20
デフォルト ユーザー インタフェースの回復 20
ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ 20
メニューのカスタマイズ 22
ツール バーのカスタマイズ 27
ショートカット キーのカスタマイズ 31
ユーザー インターフェース要素のドッキングとアンドッキング 33

ユーザーインターフェースの利用

ユーザーインターフェースの利用：概要

このセクションではPC -
DMIS使用の概要を説明します。ここではソフトウェア操作に必要な基本操作について記載します。PC-
DMISの能力を十分に引き出し、測定ルーチンのプログラミングをできるだけ簡単にするには、この項全体を読み、コンピュータの指示に従ってください。

また、この項ではそれぞれのニーズに合わせてPC-
DMISのグラフィックオプションをカスタマイズする方法についても触れています。(これらの使用可能なオプションに関する追加情報については「CAD表示の編集:
はじめに」セクションを参照してください。)

以下に記載される各トピックはンターフェイスの特定の機能を示します。これらは、この項で述べられている項目です：

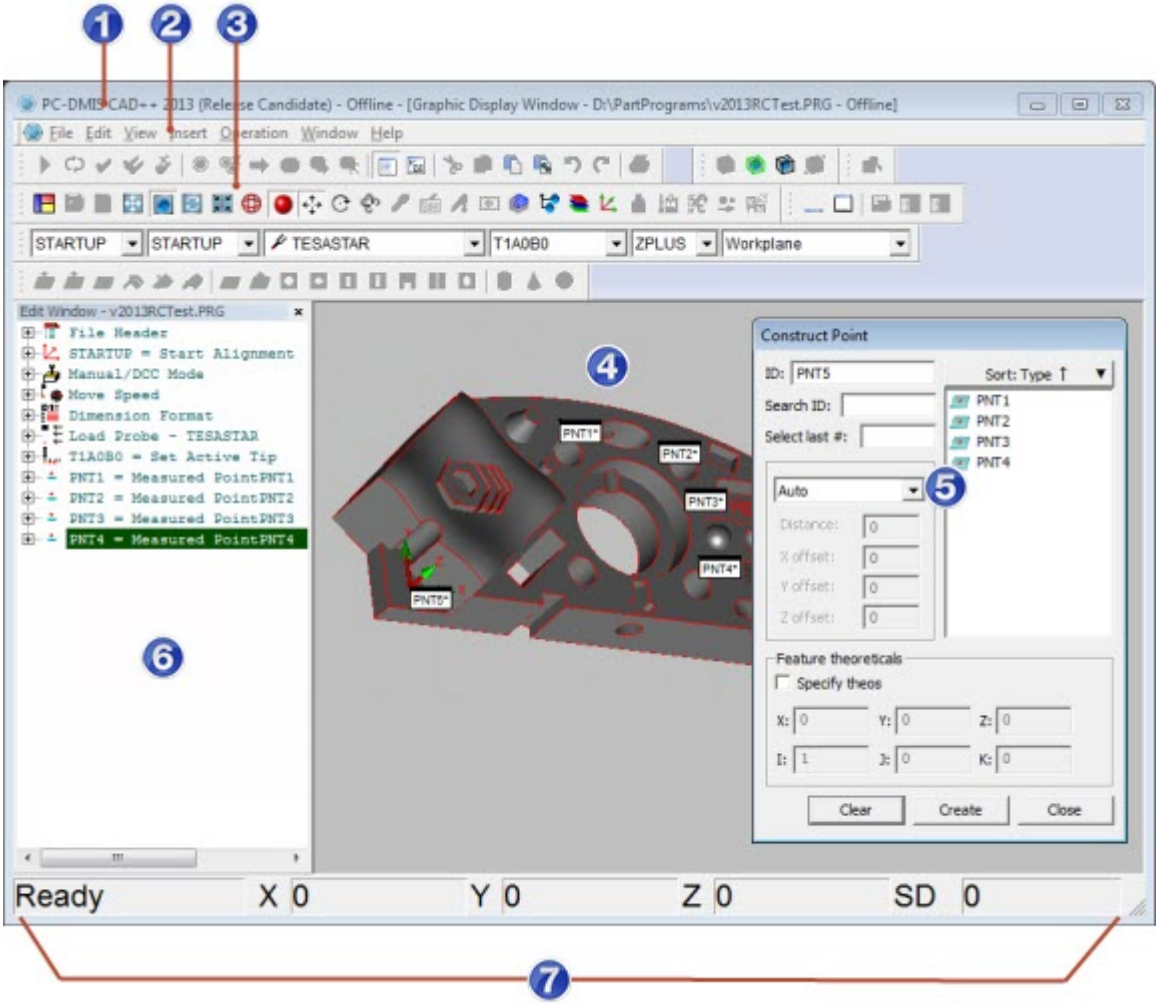
- スクリーンの概観
- メニュー バー
- ツール バー エリア
- グラフィックの表示ウィンドウ
- ステータス バー
- ダイアログ ボックスの内容
- ユーザー インターフェイスのカスタマイズ

PC-DMIS
ではマウスまたはキーボードを使用してコマンド入力またはオプション選択を柔軟に行えます。ショートカットメニューとショートカットキーは頻繁に使用されるコマンドに割り当てられます。「ショートカットキーおよびショートカットメニューの使用:
はじめに」セクションを参照してください。

スクリーンの概観

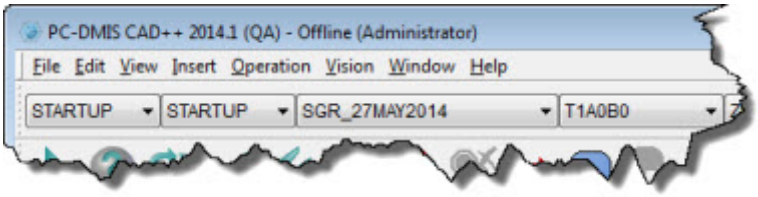
Plannerはユーザーに一貫性のある画面の外観を示します。

スクリーンは、幾つかのエリアに分かれており、その各エリアでは特定の機能を実行するか、または必要な情報が表示されます。下記に各スクリーンエリアの簡単な説明を記します。（より詳しい情報については文書の指定の場所に記載されています）。



PC-DMISユーザーインタフェースの画面の外観

1. タイトルバーは以下を提供します：
    - バージョン情報を表示します。
    - 現時点で読み出された測定ルーチンを表示します。
    - PC-DMISが管理者モードである場合に表示すること



- 標準のWindowsの**最小化**、**最大化**および**閉じる**ボタンがあります

2. **メニュー バー** はPC-DMISアプリケーションからの利用可能なメニュ及びメニュ項目を含めています。詳細については、「メニューバー」を参照してください。

3. **ツールバー**エリアにはよく使われるコマンドのツールバーが含まれています。これらのツール
バーは、**ツールバー**エリアを右クリックすることで簡単にアクセスできます。「ツールバー エリア」を参照してください。詳細については、「

4. グラフィックの表示ウィンドウではパーツの表現をグラフィックに表示します(トップビューを図に示します)。このエリアのサイズは一定です。ただし、表示エリアは、最大四つの異なるパーツ画像に分割が可能です。詳細については、「グラフィック表示ウィンドウ」を参照してください。

5. ダイアログ
ボックスはPlannerとユーザー間の主な通信チャネルです。利用可能な要素はダイアログボックスに表示され、大部分の入力データが入力されます。詳しくは「ダイアログボックスの説明」を参照してください。

6. 編集ウィンドウは測定ルーチンを表示します。このウィンドウでは測定ルーチン内の特定コマンドにアクセスでき、個々の仕様を満たすように変更を行うことができます。完全に文書化された編集ウィンドウの操作については、「測定ルーチンの編集」および「編集ウィンドウの使用：概要」の章を参照してください。

7. ステータス
バーは、その時点でのオペレーションにとって重要な情報を表示します。これは、プローブの現在位置、プローブ校正データ、測定された最後の要素の標準偏差、ヒット数、およびその他などの情報を含みます。また、それには、進行中のオペレーションについての関連情報を伝えるメッセージ エリアを含みます。より詳しい情報は 「ステータスバー」を参照ください。

メニュー バー

キーボードを使用してメニューを開き、オプションを参照するには、Alt
キーを押し、開きたいメニュー名で下線が付いている文字を押します。(「マウスを用いての、メニュー バーからのオプション選択」で説明しているとおり、マウスを使用することも可能です)
この文書は各メニューオプションの情報を提供するために作成されています。必要に応じて適切な章を参照してください。このセクションではそれぞれ他のメニューオプションについて簡単に説明します。

また、PC-DMISには、色々なショートカット
メニューがあります。これらは「ショートカットキーおよびショートカットメニューの使用:
はじめに」の章で説明しています。

ファイル

ファイルメニューでは、ファイルをオープン、保存、印刷したり、編集ウィンドウをアクセスしたり、実行モードで測定ルーチンを実行したり、または測定ルーチンから終了することができます。
さらに詳しい説明については、「基本的なファイルオプションの使用:
はじめに」及び「高度なファイルオプションの使用: はじめに」章を参照して下さい。

編集

[編集]メニューでは、測定ルーチンのユーザー設定、測定ルーチンまたはCAD表示を編集できます
。

- 優先設定を編集するには、「優先設定: はじめに」の章を参照してください。
- 編集ウィンドウで測定ルーチンを編集するための詳細については、「測定ルーチンの編集 : 概要」と「編集ウィンドウの使用 : 概要」の章を参照してください。
- CAD図面の表示を編集するには、「CAD表示の編集:
はじめに」の章を参照してください。

ﾋﾞｭｰ

ビューメニューでは、全てのウィンドウ、エディタ、及びPC-
DMIS利用可能なツールバーにアクセスできます。完全な情報については、「その他のウィンドウ、エディタ、及びツールの使用: 概要」の章を参照してください。

挿入する

測定ルーチンの一連のコマンドには**挿入**メニューからアクセスできます。

本文書を構成するほとんどの章は、このメニューに表示されるオプションとサブメニューに由来します。

- 「**ハードウェアの定義**」
  サブメニューのオプションについては「ハードウェアの定義」の章で説明されています。
- **要素**サブメニューのオプションは以下の章で説明されています:
  「要素の自動作成」、「測定された要素の作成」、「既存の要素から新要素の作成」、「一般要素の作成」。
- **アラインメント**サブメニューのオプションは「アラインメントの作成と使用」の章で説明されています。
- **寸法**サブメニューのオプションは「旧式寸法の使用」の章で説明されます。
- **スキャン** サブメニューのオプションは「パートのスキャン」の章で説明されています。
- **移動** サブメニューのオプションは「移動コマンドの挿入」の章で説明されています。
- **フローコントロールコマンド**サブメニューのオプションは「フローコントロールを使用した分枝」の章で説明されています。
- **統計コマンド**サブメニューのオプションは「統計データのトラッキング」の章で説明されています。
- **レポートコマンド**サブメニューは、DiminfoおよびPointinfoボックスをCAD表示および測定ルーチンに追加する機能も備えており、「レポートコマンドの挿入」の章に記載されています。
- **ファイルI/O**
  コマンドサブメニューのオプションは「ファイル入力/出力の使用」の章で説明されています。
- **モジュール**サブメニューのオプションは、PC-DMIS
  とともにインストールされたツールキットモジュールを示しています。
- **挿入**
  メニューの残りオプションは、「式及び変数の使用」の章と「外部要素の追加」の章で説明されています。

オペレーション

操作 メニューの項目はドキュメントの様々なトピックに説明されます。

ウィンドウ

[**ウィンドウ**]メニューでは開いているすべての測定ルーチンの表示を管理できます。「複数ウィンドウの操作と表示」の章を参照してください。

ヘルプ

ヘルプ メニューは PC-DMIS コマンド、ダイアログ ボックス,
、メニュー項目、メッセージなどの総合的な情報を提供します。[**ヘルプ**]
メニューの任意の項目を選択するか、またはいつでも F1 を押すと PC-DMIS
ヘルプファイルがアクティベートされます。PC-DMIS は PC-DMIS
ヘルプファイルを起動します。「オンラインヘルプの使用」の章を参照してください。

また、PC-DMIS のバージョン情報も提供し、PC-DMIS
ソフトウェアを自動的にアップデートするオプションも提供します。はじめに:概要の章のソフトウェアのアップデートを参照してください。

マウスを用いての、メニュー バーからのオプション選択

オプションも、メニュー バーと同様の方法で、ドロップダウン
メニューから選択することができます。

マウスを用いて、メニューを開き、オプションを閲覧するするには：

1. ポインターをご希望のメニュー名に移動して下さい。
2. マウスの左ボタンをクリックして下さい。

オプション名の後に省略記号がある場合、この機能を選択するとダイアログ
ボックスが表示されます。例えば、「**ファイル| 開く...**」では **ファイルを開く**ダイアログ
ボックスがあることがわかります。ダイアログ ボックスは、PC-
DMISが実行するコマンドを特定する、（コントロールと呼ばれる）様々なオプション、ボックス
、ボタンを表示します。ダイアログボックスは、既存のデフォルト設定を表示することもあり、変更の必要がない場合にはそのデフォルトをそのまま保存できます。一般的に、ダイアログ
ボックスのすべてのコントロールが設定された後、
OKボタンを選択してコマンドを実行します。コマンドを取り消してダイアログ
ボックスを閉じるには、**キャンセル**ボタンをクリックします。

キーボードを用いての、メニュー バーからのオプション選択

キーボードを使用してメニューを開き、オプションを参照するには、Alt
キーを押し、開きたいメニュー名で下線が付いている文字を押します。

例えば： キーボードを使用して**ビュー** メニューを開くには、ALT と V
(下線付きの文字)を押します。同じような方法でメニューからオプションを選択できます。対応するオプションの下線付きの文字を押すだけです (つまり、Cu<u>t</u>(切り取り) の場合:
Tキーを押します)。

また、メニューは矢印キーでも開くことができます。

手順は次のとおりです:

1. メニュー バーに切り換えるには、ALT キーを押して下さい。
2. 目的のメニューに移動するには、左/右矢印キーを使用します。
3. オプションを選択するには、上/下矢印キーを使用します。
4. ご希望のオプションがハイライトで表示されたら、入力キーを押して下さい。

また、ショートカット
キーには、多数のオプションが割り当てられています。ショートカットキーはコマンドまたはオプションの右側に表示されます。

さらに詳しい情報について、「ショートカットキーおよびメニューの使用」の章を参照してください。

ツール バー エリア

PC-
DMISは頻繁に使用されるコマンドで構成された様々なツールバーを提供します。これらのツールバーは、二つの方法のうちいずれかを用いてアクセスすることができます。

1. **像 | ツール バー** サブメニューを選び、現れたメニューからツール
   バーを選択して下さい。
2. PC-DMISの**ツールバー**エリアを右クリックし、現れたショートカット メニューからツール
   バーを選択して下さい。

ツールバーエリアにツールバーが置かれたら、まず左または右のエッジとボタンの間のスペースをクリックして、ツールバーを別の場所にドラッグすることでツールバーを移動できます。

PC-DMIS
ツールバーに関する詳細な説明については、「ツールバーの使用」の章を参照してください。

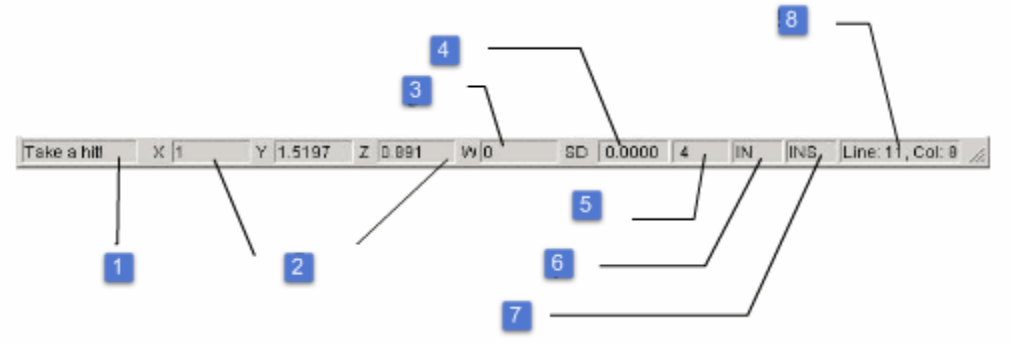
グラフィックの表示ウィンドウ

グラフィックの表示ウィンドウはグラフィックを非常に簡単に表示します。測定ルーチンを作成またはそれにアクセスしているとき、デフォルトではこのウィンドウが開きます。このウィンドウを表示または非表示にするには、 **表示|**
グラフィックの表示ウィンドウメニューオプションを選択します。

- このウィンドウは、インポートされたCADパーツ、プローブ、任意のシミュレーション下の測定機や固定具などを、複数のウィンドウ枠で画像表示します。
- 測定された、自動的な、作成された要素とそれらのIDラベルを示します。
- これはスキャン、GD&Tコールアウト、寸法及びテキストボックスを示します。

グラフィックの表示ウィンドウはPC-DMISの不可欠な部分です。グラフィックの表示ウィンドウの編集、および画面表示を変更することについては、「CAD表示の編集」の章を参照してください。

ステータス バー



ステータスバーには次のように表示されます：

1. **メッセージボックス:**
   一番左のボックスは現在のプロシージャまたはコマンドに関係つける手順およびその他の情報を示します。

2. **X、 Y、および Z ボックス:** これらのボックスはプローブの X、 Y、及び Z 位置を示します。ステータスバー内の3つの座標のうち任意の一つをクリックすると**[点の自動移動]**ダイアログボックスが現れます。（DCC の点移動に関する詳しい情報は移動コマンドの挿入の章にある「点の移動コマンドの挿入」を参照してください）

3. **W:** 回転テーブルの角度:

4. **SD:** これは最後の要素測定の標準偏差を示します。

5. **ヒット#:** 現在取られるヒット数を示します。

6. **IN/MM:** これは測定ルーチンで使用される現在の測定の単位を示します。

7. **INS/OVR:** - ボックスは編集レポートの現在の編集機能を示します。INS（INSERT、カーソルの位置にテキストを挿入することの意味) または OVR (OVERWRITE、カーソルで検出した任意のテキストを上書きすることの意味)を示します。

8. **行:** ボックスは編集レポートにカーソルの位置の現在の行を表示する番号を示します。**列:** ボックスは編集レポートにカーソルの位置の現在の列を表示する番号を示します。

ステータス バー操作

- ステータス バーを拡大する場合、**[表示 | ステータス バー | 拡大]**を選択します。サイズが増加するため、この大きなステータスバーは**メッセージ**と **XYZ** ボックスのみ示します。

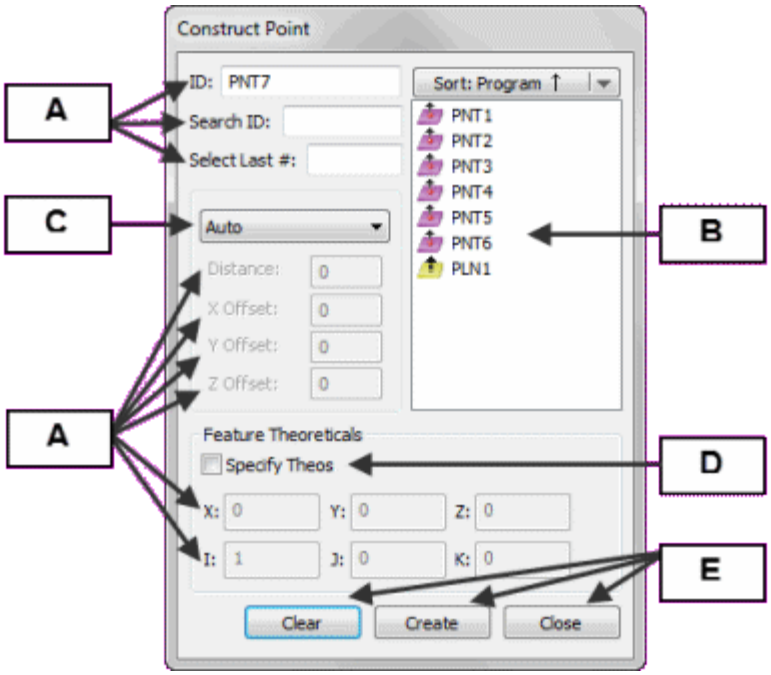
- ステータスバーを通常のサイズに戻すには、**ビュー| ステータス バー| 標準**を選択します。

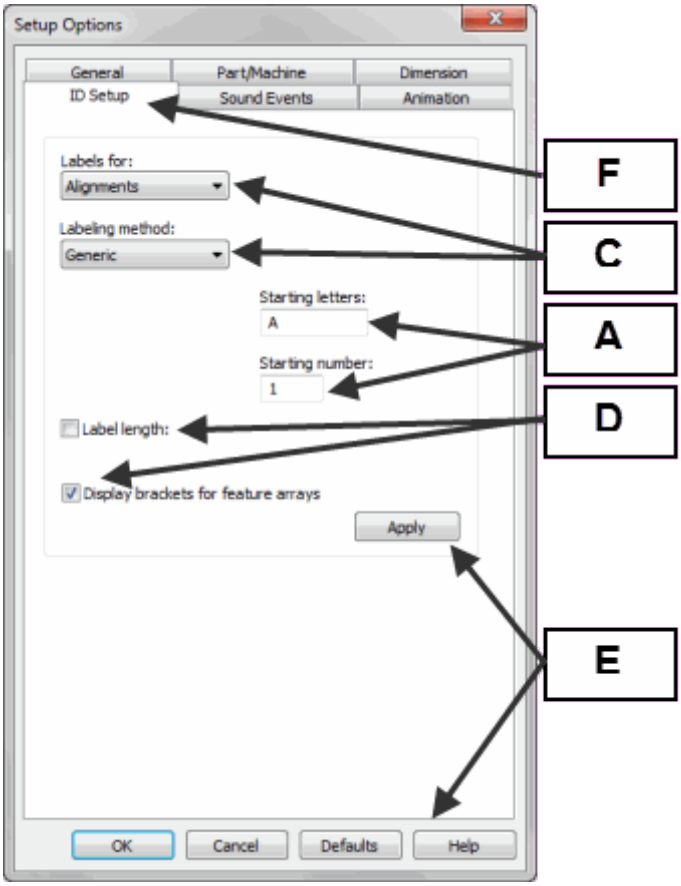
- ステータス バーを表示または非表示するには、**表示 | ステータス バー | ステータスバーを隠す**を選択します。

ダイアログ ボックスの内容

ダイアログ ボックスには、コマンドの実行方法をPC-DMISに指示するための、様々なボックスやボタン（コントロールとも呼ばれます）があります。ダイアログボックスは、既存のデフォルト設定を表示することもあり、変更の必要がない場合にはそのデフォルトをそのまま保存できます。ダイアログボックスの全部のコントローラが設定された場合、**OK**を選択してコマンドを実施します。コマンドを取り消してダイアログ ボックスを閉じるには、**キャンセル**ボタンをクリックします。

グラフィックはPC-DMISにほとんどのダイアログボックスのいくつかの共通の要素を説明します。


Construct Point
ID: PNT7
Search ID:
Select Last #:
Sort: Program
PNT1
PNT2
PNT3
PNT4
PNT5
PNT6
PLN1
Auto
Distance: 0
X Offset: 0
Y Offset: 0
Z Offset: 0
Feature Theoreticals
Specify Theos
X: 0
Y: 0
Z: 0
I: 1
J: 0
K: 0
Clear
Create
Close
A
B
C
D
E


Setup Options
General
Part/Machine
Dimension
ID Setup
Sound Events
Animation
Labels for:
Alignments
Labeling method:
Generic
Starting letters:
A
Starting number:
1
Label length:
Display brackets for feature arrays
Apply
OK
Cancel
Defaults
Help
F
C
A
D
E

A - 編集ボックスまたはフィールズ

B - List Box一覧ボックス：

C - ドロップダウンリストボックス

D - チェックボックス

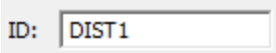
E - コマンド ボタン

F - タブ

編集ボックス

編集ボックスで目的の値または名前を入力します。本文書では、手動編集ボックスは単に「ボックス」と表記されます。PC-
DMISの多くのダイアログボックスで使われている、編集ボックスを以下に列挙します：

ID=[フィーチャー]



このボックスは要素、寸法IDまたは作成される要素と寸法の名前を示します。

IDを変更するには：

1. 直前に表示されていたIDを選択して下さい。
2. 新IDをタイプして下さい。
3. タブ キーを押して下さい。

測定寸法IDの変更について：

- IDの数字部分のみ変更し、測定結果のカウンターを任意の数字にリセットすることができます。
- IDのテキスト部分のみを変更し、次の測定結果からデフォルトのテキストとして設定することができます。(「ユーザー設定」章にある **[設定オプション]** ダイアログ ボックスの **[ID設定]** タブを参照してください。)

IDを探す

IDを検索ボックスでは、現在の操作に使用する要素 (または寸法) IDをキー入力できます。このボックスを使用すると、メタキャラクタ検索オプションを用いた検索が可能です。要素 または寸法 IDは、適切な **要素リスト** ボックス(または**寸法リスト** ボックス)にハイライトされます。

IDを検索 ボックスに要素IDを入力してまたENTERを押す場合、 PC-DMIS は**要素リスト** または**寸法リスト** ボックスからの要素を選択します。

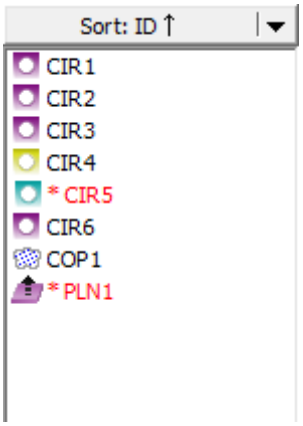
直前のいくつかを選択

最終要素からの選択数 ボックスでは、要素（または寸法）の最後から特定の数を選択できます。例えば、最後に作成された四つの要素を選択したい時、単に**4**を入力してTABキーを押します。PC-DMISは**要素リスト** ボックスに選択された要素をハイライトします。

一覧ボックス

リストボックスは編集ボックスと似ていますが、リスト表示された値を変更することはできません。この文書では、リストボックスは「リスト」または「ボックス」と呼びます。PC-DMISの多くのダイアログボックスで使われている、リストを以下に列挙します：

要素リストボックス



要素リストボックス

要素リスト ボックスは測定ルーチン内で利用可能な要素のリストから成ります。PC-DMISは選択された要素を使用して、アラインメントの定義、新しい要素の作成、寸法の作成など

の操作を実行します。CAD
表示の編集の章にあるグラフィックス表示ウインドウを使用した要素の選択トピックに記載された指示に従って要素を選択してください。

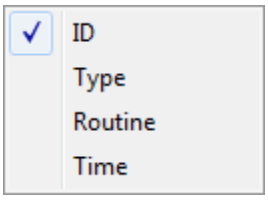
左側にアスタリスク (*)
の付いた赤色のテキストで表示された要素は、測定ルーチン実行中にスキップされた要素であることを示します。

クリア または**クリア・リスト** ボタンの使用で選択された（ハイライト）要素は解除できます。

外部測定ルーチンを添付している場合 (「外部要素の追加」
章の「外部測定ルーチンの添付」を参照）、PC-DMISは
添付された測定ルーチンの参照に使用する変数（またはポインタ）も一覧表示します。プラス記号（+）がポインタの左に表示されます。このプラス記号をクリックすると、添付された測定ルーチンの全要素が展開または折り畳み表示されます。

要素の並べ替え

[要素の一覧]
ボックスの上にあるドロップダウン矢印ボタンをクリックすると、以下に示すように利用可能な様々な並べ替え方法が表示されます。



要素の一覧の並べ替えメニュー

選択が行われたら、選択したオプションをもとに自動的にリストが並べ替えられます。リストに新しい項目が追加された場合、**[並べ替え]**
ボタンをクリックすると、ボタンに表示されている現在の並べ替えオプションに基づいてリストが再度並べ替えられます。ボタンを再度クリックすると、表示された並べ替え方法の右にある上（または下）矢印に示すようにリストが逆順に並べ替えられます。

並べ替えオプションの定義

- **ID** - 要素 ID に基づいてリストをアルファベット順に並べ替えます。
- **タイプ** - 要素タイプごとに並べ替えます。この場合、要素の ID
  は第二並べ替え条件として使用されます。
- **ルーチン** - 要素が測定ルーチン内で表示される順番に基づいてリストを並べ替えます。
- **時間** - 最後に測定された要素の時間に基づいてリストを並べ替えます。

測定寸法一覧ボックス

測定結果リストボックスは測定ルーチンに作成されたすべての測定結果のリストから成ります。リストボックスから希望の測定結果を選択し、関連するダイアログボックスで希望の変更またはオプションを選択することによって、測定結果を編集したり分析することができます。ユーザは、Ctrlまたは**Shift**を押す同時に、もう一つの寸法をクリックすることによって、一度に複数の寸法を選ぶことができます。

寸法情報の編集ダイアログボックス内で、寸法が既に寸法情報ボックスに関連付けられている場合、PC-
DMISはリストの寸法IDの隣に星印（*）を付けて表示します。寸法情報が現在のビューのどれにも表示されていない場合、IDの隣にシャープ記号（#）が付きます。

例えば、CIR4 という名前の円に対して RND1
という名前の真円度の測定結果を仮定します。この真円度の測定結果には既に関連する DIMINFO ボックスが付いているが、DIMINFO
ボックスはグラフィックの表示ウィンドウのすべてのビューから隠れている場合、リスト内の ID は次のように表示されます:

RND1->CIR4->*#

アスタリスクと番号記号のシンボルの例

オプション ボタン

エリアはダイアログ
ボックスに利用可能な機会を示すオプション・ボタンを含みます。希望ボタンへのクリックで利用可能な機会の間にスイッチします。オプションを選択している場合、選択されたオプションの左に黒丸が示し、その他の全部のオプションはクリアされます。そのエリアからは1つだけのオプション・ボタンを選択することができます。

チェックボックス

チェックボックスをクリックしてオプションをオンまたはオフにします。オプションはチェックマークがボックス内に表示されたときに「オン」と見なされます。複数のチェックボックスを選択できます。

コマンド ボタン

コマンドボタンは、動作を実行します。PC-DMISにほとんどのダイアログボックスに共通するコマンドボタンはここに記載されます：

適用する

適用
ボタンでダイアログボックスへの選択を適用してもっとの変更にダイアログボックスを開いたままにします。

OK

OK ボタンで変更の保存と適用またダイアログ ボックスの終了ができます。一部分のダイアログボックスに、**OK** ボタンのクリックで、 編集ウィンドウへコマンドを挿入できます。

ｷｬﾝｾﾙ

キャンセルボタンを押すとすべての変更を無視し、ダイアログボックスを閉じます。

削除する

削除ボタンで特定のリストボックスから項目(作成要素、測定結果、プローブ・ファイル、配置情報など）を除去します。

CADを削除 ダイアログ ボックスに、**削除**
コマンド・ボタンは選択した理論値要素を削除します。CAD削除を参照してください。

最終

最後ボタンでは、関連するリストボックスの最後の項目を選択できます。

直前の二つ

Last Two

最後のふたつの ボタンで関連するリストボックスでの最後の二つの項目を選択できます

全部選択

Select All

すべてを選択 ボタンで関連付けられているリストボックスにすべての項目を選択します。

初期値

Default

デフォルトボタンを使用して、いくつかのパラメータのデフォルト設定を更新します。新しい測定ルーチンを作成すると、デフォルト値として保存されているすべての変更点が反映されます。

このデフォルト値はレジストリに保存されます。これらのパラメータは、該当するダイアログボックスを通して、または、*PC-DMIS Settings Editor*
を用いてレジストリ自体を編集することによって更新することが可能です。このアプリケーションはPC-DMISでインストール設定に含まれています。より詳しい情報については 「レジストリエントリーの変更」を参照してください。

- [**デフォルト**]ボタンをクリックしないで[**OK**]ボタンをクリックすると、定義したパラメータがアクティブな測定ルーチンにのみ適用され、レジストリのエントリー変更は行われません。
- パラメータを変更し、**デフォルト** ボタンをクリックする場合、 PC-DMISはレジストリエントリーを更新して、デフォルトをその時点のエントリーと再定義します。

デフォルトボタンで、後に作成された新しい測定ルーチンに新しいデフォルト値を保存および適用できます。

呼び出し

Recall

リコー ボタンを使用して、**デフォルト**
ボタンをクリックすることにより、オリジナル値が変更されていない限り、元の工場出荷時の設定を呼び戻すことができます。その場合ではPC-DMISはレジストリに保存した値を回復します。

測定機オプション ダイアログ
ボックスを使って、コントローラから工場出荷時の設定を読み取り復元する情報については、「測定機のセットアップ インターフェース」「優先設定」の章を参照して下さい。

作成

Create

作成
ボタンは特定のダイアログボックスに加えられた変更を適用し、要素、寸法、スキャンなどを作成します。次にそれが作成された項目を編集ウィンドウとグラフィック表示ウィンドウに配置します。

作成ボタンでダイアログ
ボックスを閉じません。**閉じる**ボタンをクリックしている場合、ダイアログ
ボックスを閉じます。

閉じる

Close

閉じる ボタンでダイアログ ボックスを閉じます。いくつかのダイアログ
ボックス（それ以上のオプションを選択したい場所）が **OK**、 **適用**、 または**作成**
ボタンで自動にダイアログ ボックスを閉じます。

クリア

Clear

クリア
コマンドボタンで、リストボックスから選択された任意の項目のハイライトをクリアできます。いくつかの場合においては、**クリア**
ボタンは、特定のリストボックスから選択項目を完全に削除します（**例: 新規角度リスト**
ボックスのABポジション）。

いくつかのダイアログ ボックスとタブに **クリア** ボタンは **適用** または **OK**
ボタンはクリックされてPC-
DMISに現在の「建設」値を回復する前に入力また変更された任意の値をクリアします。
デフォルト ボタンを使用してデフォルト値を保存したい場合、PC-
DMISはそれらの値を保存します。

アンドゥ

Undo

元に戻す ボタンは 適用ボタン(またはDCCのスキャン一般 ボタン)
の操作を元に戻します。**OK**ボタンを押すと、変更を元に戻すことができません。

ヘルプ

Help

ヘルプボタンで、現在ダイアログ
ボックスと関連するオンライン・ヘルプ・トピックを開きます。

ダイアログ ボックスのタブ

ダイアログ
ボックスの中には、タブを含むものがあります。識別マーカーとして、これらのタブファイリングキャビネット内のフォルダの名前と同じようになります。簡単にタブにクリックして希望のウィンドウまたはほかのタブの前のオプションをもたらします。タブに関連付けられたすべてのオプションやコマンドは表示されます。

ドロップダウン 一覧ボックス

ドロップダウン一覧ボックスはメニューのよう作業します。その時点での選択物の右にあるドロップダウン 矢印アイコン
をクリックするか、キーボード上のALTキーとアップ矢印キーまたはダウン矢印キーを押して下さい。また、F4を押しても、利用可能なオプションが表示されます。一覧を閉じるには、F4キーを再度押して下さい。現在の選択がハイライトボックスに表示されます。

ダイアログボックスをアクセスするオプション

マウスやキーボードはダイアログ
ボックスにオプションへのアクセスに使用されます。マウスを使ってオプションアクセスするには、簡単に必要なオプションにポイントしてクリックします。

キーボードを用いれば、利用可能なオプションの間を様々な方法で移動できます:

- 次に使用可能なオプションに移動するには、**Tab** キーを押します。
- 前の利用可能なオプションに移動するには、 **Shift+Tab** を押します。
- 現時点のドロップダウンリストを表示するには、**Arrow** キーを押します。
- 現時点のコマンドを選択するには、 **Enter** キーを押します。
- 現時点のチェックボックスまたはボタンを選択するには、**Space Bar** を押します。

編集ウィンドウをスクロール

編集ウィンドウは、ダイアログ ボックスと同じように移動できます。「ダイアログ ボックスの移動」を参照してください

編集ウィンドウでは、スクロールバーを使って、ウィンドウ内のデータをより多く見ることができます。

スクロールするには：

1. マウスポインターをスクロール矢印の上に置いて下さい。
2. マウスの左ボタンをクリックまたは押さえ続けて下さい。

PC-DMISは、スクロール矢印の指す方向にテキストをスクロールします。例えば、スクロールダウンするには、下向きのスクロール矢印をポインターで選び、マウスの左ボタンをクリックして下さい。

編集ウィンドウについて詳しくは、「測定ルーチンの編集」と「編集ウィンドウの使用」の章を参照してください。

ダイアログ ボックスの移動

マウスを使って、ウィンドウやダイアログボックスを移動することができます。

ダイアログ ボックスまたはウィンドウを移動するには：

1. マウスポインターをタイトルの上に置いて下さい。
2. マウスの左ボタンを押さえ続けて下さい。
3. グラフィックス表示ウィンドウに希望したい位置にダイアログまたはウィンドウをドラッグします。
4. マウスボタンをリリースして下さい。

PC-DMIS ダイアログボックスまたはウィンドウを新しい場所に移動します。

ユーザーインターフェイスの他の部分にいくつかのダイアログボックスおよびその他のインターフェイス要素をドッキングすることができます。これらのダイアログボックスは移動前に、アンドッキングが必要であるかもしれません。「Docking ユーザーインターフェース要素のドッキングとアンドッキング」を参照してください。

ユーザー インターフェイスのカスタマイズ

メニューの再編成、独自のプログラムをメニューへ追加、または新しいメニューとオプションを同時に作成することが可能です。PC-DMISで PC-DMISにコマンドをネイティブにリンクして、ツールバーにコマンドをカスタマイズできます。ユーザーインターフェイスを変更する方法については、以下のトピックで説明します：

- デフォルト ユーザー インタフェースの回復
- ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ
- メニューのカスタマイズ
- ツール バーのカスタマイズ
- ショートカット キーのカスタマイズ

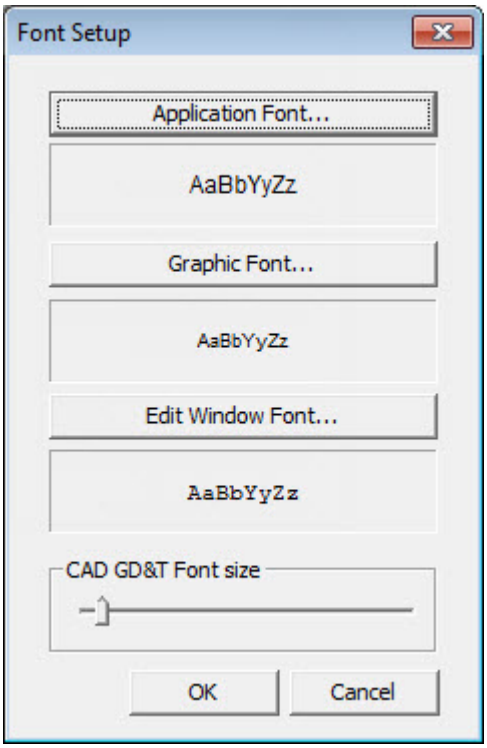
注記: 本文書の構成は、当バージョンの PC-DMIS で出荷されたデフォルト ユーザー インターフェースに基づいています。ユーザーインターフェースをカスタマイズすると、既存の文書の手順に従いにくくなることにご注意ください。

デフォルト ユーザー インタフェースの回復

PC-DMISのこのバージョで出荷したデフォルト ユーザー インターフェースにPC-DMISの概観を回復したい場合、以下の手順に従って下さい:

1. PC-DMISを閉じて下さい。
2. PC-DMISがインストールされた先のディレクトリに進んでください。
3. お手持ちのWindows ユーザープロフィールであるディレクトリにアクセスして下さい。
4. 起動している言語の三つの文字コードを参照するメニュー_xxx.datという名前のファイルを削除します。英語について、menu_eng.datを削除します。
5. PC-DMISを再起動して下さい。それはデフォルト ユーザー インターフェースを使用します。

ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ



ﾌｫﾝﾄダイアログ ボックスの変更

フォント属性を変更するには、**[編集| ユーザー設定 | フォント]**メニューオプションを選択して**[フォント設定]**ダイアログボックスにアクセスします。このダイアログボックスを使用してフォント属性を変更することができます。このフォント属性には、メインユーザーインタフェース、グラフィック表示ウィンドウおよび編集ウィンドウでのフォント、サイズ、スタイルなどがあります。

フォントを変更するには：

1. これらのオプションボタンの一つを選択すると標準の**フォント**ダイアログボックスが現れます：

   - **アプリケーションフォント–**
     これは**設定**ツールバー、プレビューウィンドウ、読み出しウィンドウ、ステータスバー、および任意のメッセージボックス等に現れるフォントのリストを変更します。

   - **グラフィックフォント –**
     グラフィックディスプレイウィンドウに表示されたテキストのフォントを変更し、主に特徴ラベル、次元情報及びポイント情報テキストボックスなどを影響します。

- **編集ウィンドウフォント–**
  これは編集ウィンドウのフォントを変更します。以下の注記を参照してください。

2. 入手可能な一覧から、ご希望のフォント変更を選択して下さい。
3. **OK**をクリックして、**フォント**ダイアログ ボックスを閉じます。
4. **フォント設定**のダイアログ ボックスで**OK**をクリックして変更を確定します。

重要:
コンピュータシステムで利用可能な任意のフォントを使用できますが、フォントの中にはスペースが均一でなくコンポーネントを読みにくくするものがあることにご注意ください。例えば、編集ウィンドウのテキストを表示または印刷する場合、モノスペース（または固定幅）フォント
(例えば*MS UI Gothic*
フォント)の使用を推奨します。それ以外を選択した場合、文字、行、見出しが期待通りに並ばないことがあります。

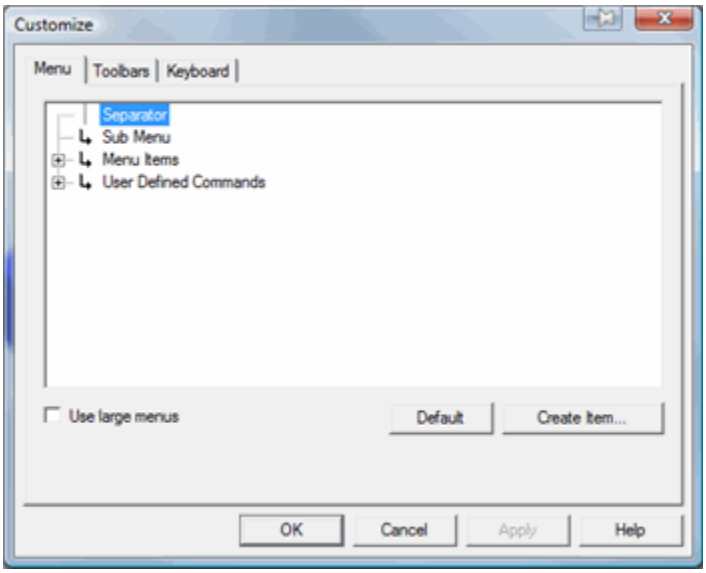
CAD GD&T フォントサイズ

このスライダを使用して、グラフィック表示ウィンドウに表示されたGD&T
CAD要素のサイズを拡大/縮小することができます。スライダを調整すると、フォントサイズがダイナミックに変更されます。変更されたフォントサイズを保つには**OK** をクリックします。

メニューのカスタマイズ

メニューバーのメニューをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー
   オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. **メニュー**タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - メニュータブ

このタブを用いて、新たなメニュー項目を加えたり、既存のメニュー項目を移動したり、メニュー項目をメニューバーから完全に除去することができます。

大きいメニューを使用チェックボックスを使用して大きいフォントに全部のメニュー項目を示します。大きなメニューサイズを適用するにはPC-DMISを再起動する必要があります。

メニュー項目の移動

メニュー バー上の新規の位置へ、メニュー項目を移動するには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. PC-DMIS実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)に移動したいメニュー項目を移動します。
3. 必要なメニュー項目を選択します。
4. 新しい位置にドラッグします。メニュー構造にアイテムをドラッグしている場合、アイテムが追加される場所を表示する小さな赤い矢印が現れます。
5. マウスボタンをリリースして下さい。メニューアイテムがその元の位置から新しい位置に移動されます。
6. **OK** をクリックして変更を確定し、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。

メニュー項目の削除/復元

メニュー バーからメニュー項目を除去するには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。

2. PC-DMIS実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)から削除したいメニュー項目に移動します。

3. 必要なメニュー項目を選択します。

4. それをメニュー バー エリアから外へドラッグして下さい。

5. マウスボタンをリリースすると、当該メニュー項目がメニューから除去されます。

6. **OK** をクリックして変更を確定し、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。

削除されたメニュー項目の回復:

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。

2. 復元したいメニュー項目に**メニュー**ツリービューの一覧に移動します。

3. メニュー項目を選択してPC-DMIS実際のメニューバーにドラッグします。メニュー構成上に項目をドラッグしている際に、マウスボタンを離した時に項目が追加される場所を示す、小さな赤色の矢印 が現れます。

4. メニュー項目を挿入するために、マウスボタンをリリースして下さい。

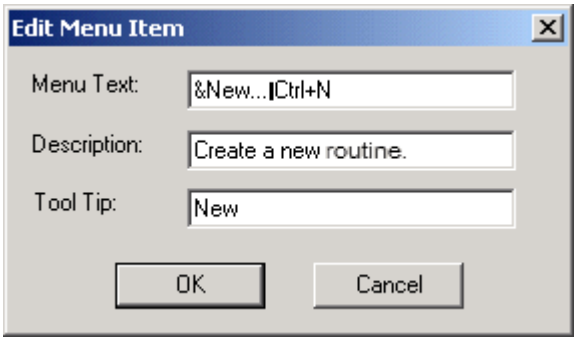
既存メニュー項目の編集

既存のメニュー項目、項目名前、説明、及びヒントを編集できます。これをするには、以下の操作を行います。

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。

2. ダイアログ ボックスが開いた後、PC-DMISのメニュー バー上をクリックして下さい。

3. PC-DMISの実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)に変更したいメニューバーの上に右クリックしてメニューを選択します。**メニュー項目を編集** ダイアログ ボックスが現れます。



「メニュー項目編集」ダイアログ ボックス

4. ダイアログ ボックスでメニュー項目を変更して**OK**をクリックします。

5. ***カスタマイズ***ダイアログ ボックスで**OK**をクリックします。

6. 変更を検査します。

注記: メニューテキスト
ボックスでアンパサンド（&）の次の文字は、簡単にメニュー項目を選択するためにAltキーとともに使用する文字であることを示します(例えば、ALT + F + N
を選択すると、ファイルメニュー項目から**NEW**(新規作成) メニュー項目にアクセスします)。

新メニュー項目の追加

自身のカスタムメニュー項目を作成でき、外部プログラムを結びまたはそれにバッチします。これをするには、以下の操作を行います。

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ**
   ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。

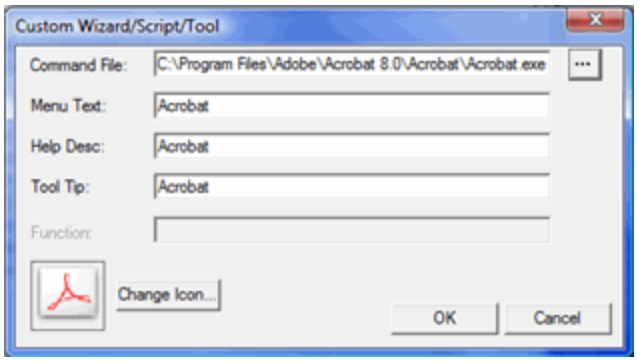
2. **項目を作成**ボタンをクリックします。**カスタム ウィザード / スクリプト / ツール**ダイアログ ボックスが現れます。

3. **[...]** ボタンをクリックします。**開く**ダイアログボックスが現れます。

4. ファイルの種類リストから、挿入する**ファイルの種類**を選択します。

5. カスタムアプリケーション、バッチファイル、BASICスクリプトなどを含むディレクトリに進んで下さい。

6. 挿入されるファイルを選択し、**開く**をクリックして下さい。**開く**ダイアログ
   ボックスが閉じて、**ｶｽﾀﾑｳｨｻﾞｰﾄﾞ/ｽｸﾘﾌﾟﾄ/ﾂｰﾙ** ダイアログ
   ボックスが選択したカスタムプログラムに関連付けられるデフォルトの情報を示します。



カスタム ウィザード / スクリプト / ツールのダイアログ ボックスが、サンプル アプリケーションを示しています。

コマンドファイル:
ボックスはコマンドへのパスを示します。

メニューテキスト:
ボックスはアイテムのメニューに使用される名前を指定できます。

ヘルプの説明:
このボックスでは、マウスを項目の上に移動するときにPC-DMISがステータスバーに示す情報を定義できます。

ツールチップ:
このボックスでは、マウスを項目の上に置いたときに表示されるヒントテキストを指定できます。これは、カスタム項目がツールバー（メニューではない）に追加された時のみ動作します。

関数:
カスタムBASICスクリプトを使用しない限り、このボックスは使用できません。このボックスが有効になると、これを用いて、読み込まれた.basファイルから実行されるサブルーチン、または関数を定義することが可能です。丸括弧をつけずに単にルーチン名を入力します。例えば、BASICスクリプト実行中に、「TestFunction」と入力すると、TestFunction ルーチンが起動します。

変更アイコン:
ボタンでメニュー項目の表示のアイコンを変更できます。

7. このダイアログ ボックス内で、その他の必要な変更を行って下さい。

8. 変更を確定するために、**OK** をクリックして下さい。PC-DMISは **カスタマイズ** ダイアログボックスの**メニュー**
   タブに**ﾕｰｻﾞｰ定義ｺﾏﾝﾄﾞ**ツリーに新しく作成したコマンドを挿入します。

9. **ﾕｰｻﾞｰ定義ｺﾏﾝﾄﾞ**ツリービューリストを展開します。

10. 新規に作成されたコマンドを選択し、PC-DMISの実際のメニューバー上にドラッグします。メニュー構成上に項目をドラッグしている際に、マウスボタンを離した時に項目が追加される場所を示す、小さな赤色の矢印が現れます。

11. コマンドを挿入するために、マウスボタンをリリースして下さい。

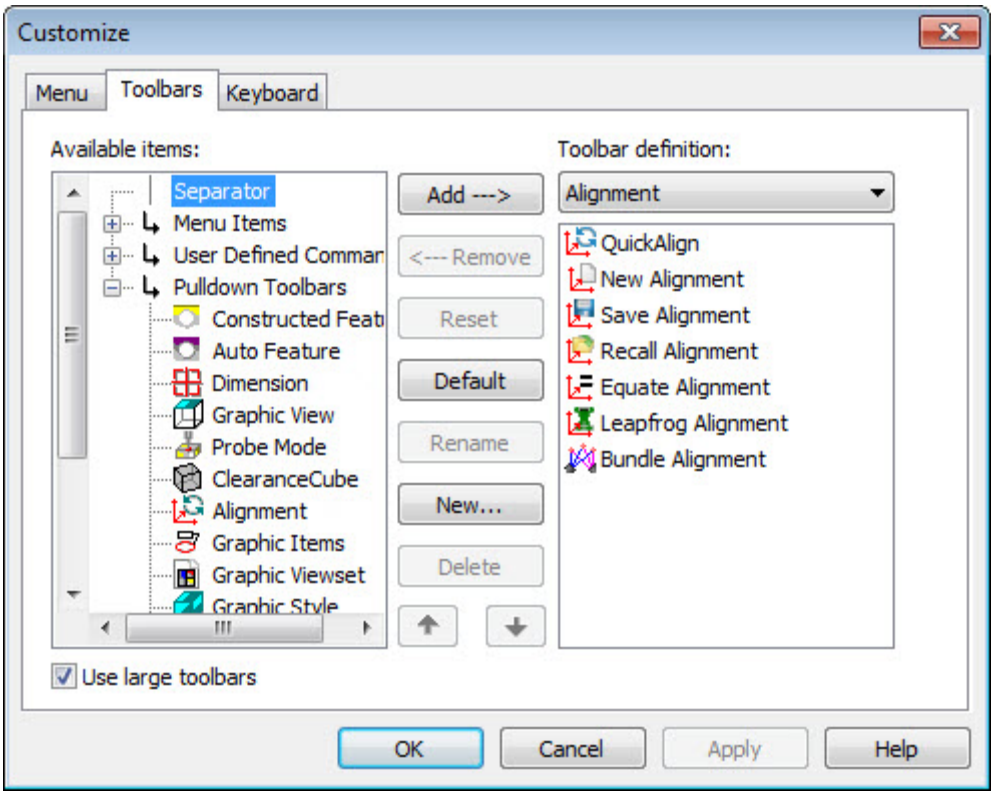
12. **カスタマイズ**ダイアログ
    ボックスを閉じます。これで、新規に挿入されたメニュー項目がメニューバーに表示されます。

ツール バーのカスタマイズ

メニューバーに示すメニューをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー
   オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。

2. **ツールバー** タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - ツール バータブ

このタブを用いて、新ツール バーやツール
バーアイコンを追加したり、プルダウンツールバーを新規を追加したり、カスタム ツール
バーを除去したり、ツール バーアイコンを既存のツール バーに再設定することができます。

大きいツールバーを使用チェックボックスを使用して全部のツールバー・アイコンを大きいサイズに示します。**OK** または**適用**をクリックしている場合、この変更は自動に発生します。PC-DMISを再起動する必要はありません。

既存のツール バーの変更

ユーザは、以下に述べるように、いくつかの方法で既存のツールバーを変更することができます。
ビュー |ツールバー |カスタマイズ メニュー
オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ
ボックスにアクセスできます。

メニュー項目をツールバーに追加するには:

1. **ツールバー定義のリスト**からツールバーを選択します。

2. **利用可能な項目リスト**に添加したい項目を見つかります。

3. それを選択して➔を**追加**
   ボタンをクリックします。項目は目的のツールバーに表示されます。

4. **適用** をクリックしてから**OK** を押して変更を受けます。

ツールバーのアイコンを削除するには:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。

2. リストに除去したい項目を見つかります（ダイアログの右側）

3. それを選択して←**除去**ボタンをクリックします。

4. **適用** をクリックしてから**OK** を押して変更を受けます。

> **注記:** 既存ツールバーは少なくとも1つのアイコンを持つ必要があります。最後のアイコンを除去して**適用**または**OK**をクリックして、アイコンがツールバーに残ります。

変更内容を消去するには:

リセットボタンをクリックします。**OK** または**適用**
ボタンがクリックされない限り、ツールバーは以前の状態に戻ります。

**すべてのカスタマイズされたツールバーを削除して、
このバージョンで配布されたレイアウトをリストアします:**

デフォルトボタンをクリックします。

新しいツールバーアイテムを新規作成するには:

新規をクリックします。 カスタム ウィザード / スクリプト / ツールダイアログ
ボックスが現れます。項目を選択して追加します。

このドキュメントは上記の「
新規メニュ項目を追加するには」トピックにカストム項目を追加するプロセスをカバーします。

ツールバーに項目の順序を並べ替えます:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。

2. 移動したい項目を選択します。

3. 上向き矢印 または下向き矢印
   ボタンをクリックしてリストのほかのツールバーアイコンの中にそれぞれに項目を上下に移動します。

ツール バーをリネームします:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。
2. **名前を変更**をクリックします。**新しいツール バー名**ボックスが現れます。
3. ボックスに名前を入力して**OK**をクリックします。

また、PC-DMISでは、別の方法を用いて、カスタム ツール
バー上のどの項目でもすばやく再編または削除することができます。Shiftキーを使用できます。手順は以下のとおり:

ツールバーのアイコンの削除と再配置するには：

1. Shift キーを押し続けたままにして下さい。
2. アイコンをクリックして、ドラッグします。アイコンが移動可能になります。
3. アイコンを*並べ替える*場合、ツールバーの新しい場所にドラッグします。
4. アイコンを*削除している*場合、それをツール バーの境界線外へドラッグして下さい。
5. マウスボタンをリリースして下さい。変更が行われます。

注記:既存ツール
バーがそれらにひとつ少なくともものアイコンを持つ必要があるので、このファッションに最後アイコンを除去すると、PC-
DMISを再起動するまでそれが除去のみ続けます。再開後に、アイコンが再び表示されます。

セパレータを追加するには：

1. Shift キーを押し続けたままにして下さい。
2. アイコンをクリックして、ドラッグします。アイコンが移動可能になります。
3. それを少し（その位置を再編するほどの距離ではなく）右にドラッグして下さい。
4. マウスボタンをリリースして下さい。区切りがその左側に現れます。

セパレータを削除するには：

1. Shift キーを押し続けたままにして下さい。
2. アイコンをクリックしてセパレーターの右へドラッグしてください。アイコンが移動可能になります。
3. 当該アイコンを区切りの左側にドラッグして下さい。
4. マウスボタンをリリースして下さい。

カスタム ツール バーの作成

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー
   オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。

2. **新規**とクリックして**ツールバー**を選択します。ツールバーの名前を要求する入力ボックスが表示されます

3. ツールバーの名前を入力して**OK**をクリックします。新しいツール バーが、**ツール バーの定義**リストに現れます。これで、ツールバーを変更して新規のツール バー アイコンを受け入れることができます（「既存のツール バーの変更」を参照して下さい）。

カスタム ツール バーの削除

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー
   オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。

2. **ツール バー定義** リストからツールバーを選択します。

3. **削除** ボタンをクリックして下さい。

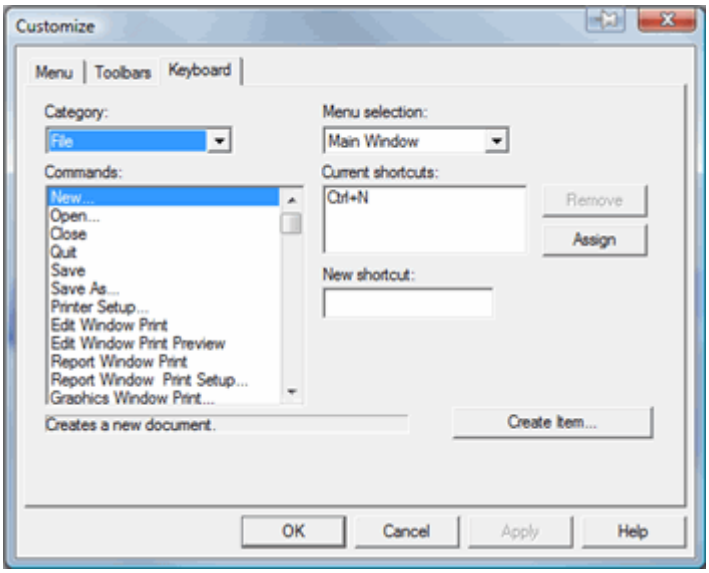
4. 変更を適用するには **[適用]** をクリックします。

ショートカット キーのカスタマイズ

メニュー項目にショートカット キーとPC-DMISコマンドをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー
   オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。

2. **キーボード** タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - キーボードタブ

このタブを用いて、PC-DMIS内のにコマンド呼び出し、及び、カスタマムメニュー用とツールバー項目用の新ショートカットキー追加に使われている、ショートカットキーを変更することができます。

コマンドにショートカットキーを追加

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー
   オプションを選択して**キーボード**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログボックスにアクセスできます。

2. **カテゴリ**
   と**メニュー選択**リストを使用して変更したいコマンドを選択します。一旦**コマンド**リストでコマンドを選択すると、現在のショートカットキーがコマンドに割り当てられる場合、**現在のショートカット**ボックスに表示されます。

3. 新規のショートカットキーを割り当てたいコマンドを、ハイライトで表示して下さい。

4. **新しいショートカット** ボックスにクリックします。

5. コマンドに割り当てるキーを入力します。押されたキーはそれらを入力したように示します。

6. **割り当て**
   ボタンをクリックして、新しいショートカットキーが他のショートカットキーが現在のコマンドに割り当てることで**現在のショートカット**ボックスに表示します。

7. **適用**をクリックして変更を確定します。

注記: 他のタブと同様に、**作成**
ボタンを使用して最初にコマンドを作成し、それをカスタムプログラムに連結させることもできます。次に、**メニュー選択**リストから**ユーザ定義**をクリックしてそのコマンドを選択できます。すべてのユーザ定義コマンドは**コマンド**一覧に表示されます。

コマンドからショートカットキーを除去

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**
   メニューオプションを選択して**キーボード**タブを選択することにより、**カスタマイズ**ダイアログボックスにアクセスできます。

2. **カテゴリ**および**メニュー選択**リストを使用して変更したいコマンドを選択します。一旦**コマンド**リストでコマンドを選択すると、現在のショートカットキーがそのコマンドに割り当てられている場合、**現在のショートカット**ボックスに表示されます。

3. ショートカットキーを削除したい命令を選択します。

4. ショートカットを選択して除去します。

5. **除去する** ボタンをクリックして下さい。

6. **適用**をクリックして変更を確定します。

ユーザー インターフェース要素のドッキングとアンドッキング

一部のユーザー インターフェース要素（例えば、ツール バーやダイアログボックス）は、その項目を他の項目の上にドラッグ/ドロップすれば、編集ウィンドウやツールバー上でドッキングすることができます。ドッキングを望まない場合には、Ctrl キーを押下しながらマウスボタンをリリースして下さい。それから、ツールバーまたはダイアログボックスはその代わりにドックできる背景の上で空中停止します。

いくつかの項目は、編集ウィンドウなど、その項目をドッキングまたはドッキングできる右クリックメニュー項目を含みます。右クリックメニュー項目が選択できない場合、開いているダイアログボックスを閉じてから再度試してください。